

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		16 01 04	中期総合計画主要施策番号		3-10	担当課	部・課	警察本部 警務課		
事業名		警察組織のあり方検討事業					内線	4532		
							E-mail	police-keimu@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	・社会情勢や治安情勢の変化、合併による市町村区域の変化に的確に対応するため、警察組織のあり方について検討を行う。								
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 ・犯罪の巧妙化、広域化、複雑化が一層進むとともに、高齢者を狙った振り込め詐欺や子どもに対する声かけ事案など、県民に身近な場所で発生する事件が後を絶たず、未だ治安の回復を実感するに至っていない。 ・市町村合併により、警察署の管轄区域と行政区画等が整合しなくなり、地域住民と警察が一体となった各種活動等に支障が生じている。 【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 ・警察活動を取り巻く社会情勢や治安情勢が大きく変化しているにもかかわらず、警察署の配置や管轄区域の見直しが十分になされていない。 【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 ・県警察組織のあり方について、広く県民の意見をうかがいながら、検討していく必要がある。								
		事業内容	・「長野県警察組織のあり方を考える懇話会」の設置							
		実施期間	H20	～	H20	根拠法令等	警察法			
	成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
・県警察における組織再編整備の基本的な方向性を見いだすため、警察組織のあり方について検討を行う。		・有識者による「長野県警察組織のあり方を考える懇話会」を開催する。(8回) ・懇話会から意見書を受領する。			・県内の有識者8名からなる懇話会を計8回開催した。 ・最終回において、懇話会から長野県警察組織のあり方について意見書を受領した。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下			
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円		2,217		国庫・県単 県単			
	決 算 額 (B)		千円		839		実施方法 直接			
	B(H21はA)のうち一般財源		千円		839		歳出節別内訳等			
	概 算 人件費	従事する職員数	人		2.00		報酬:768 旅費:111			
	概算事業費 (B(H21はA)+C)		千円	0	15,137	0	(単位:千円)			
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	懇話会の実施数		回		8		【意見書の概要】 ・限られた人員により最大の効果を上げるため、現行の25警察署体制を見直すべきである。 ・警察署の管轄区域と市町村の行政区画を一致させ、市町村の行政区画を分断しないことを原則として、警察署を配置するべきである。			
	パブリックコメントの実施数		回		1					
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明 (終了)				
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	課題の総括		・県下全体にわたり、良好な治安を維持するため、今後、県民の理解と協力をいただきながら、意見書の内容を踏まえた再編整備を進めていく。							